

## 集中豪雨・長雨対策のチェックリスト

### 露地果樹

#### 【事前対策】

内容	チェック欄	備考
(果樹共通) 明暗渠の設置を行う。		排水不良対策を講じて根の活性低下、裂果等を防ぐ。
(ナシ) 豊水のみつ症の発生に注意する。 収穫期に果実の被害を確認し、被害がみられたらやや早もぎする。 但し収穫を急ぎすぎると酸が高く食味が低下するので注意する。		7月が低温で推移するとみつ症が多発するおそれがある。 早もぎの目安はカラーチャートの地色3前後 →例年は3.5～4.5
(ナシ) 幸水の裂果に注意する。 7月上中旬に曇雨天が続き、急に晴天になるとその翌日に裂果が多くなる。		果実の初期肥大不良で発生しやすい。排水不良や着果過多も要因となる。
(ナシ) 早期落葉に注意する。 排水対策を徹底し、水田転作では暗渠を設置する。		排水不良及び日照不足で樹体の活力低下が懸念される。

#### 【事後対策】

内容	チェック欄	備考
(ナシ) 花芽着生不良となる可能性がある。 防鳥、防蛾網は収穫が終了したら速やかに取り外す。		例：9ミリ目合いラッセル網では10～20%透光率が低下する。
(ナシ) 発育枝の誘引を必ず実施し、腋花芽の着生を促す。		特に予備枝から発生した発育枝は必ず誘引する。

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。